## PCA-ACUP 無音部分検出によるサウンド自動分割の方法操作手順例

### はじめに

本手順は PCA-ACUP を使用して再生機器からパソコンにサウンドを取り込み MP3 ファイル形式で自動分割保存するまでの 操作手順の例を記載しております

- ・ 録音時に設定録音レベルが高く、曲間の無音部分にノイズが入ってしまっている。
- ・ 録音元の音源に初めからノイズが入ってしまっていて、曲間が無音として認識されない。
- ・ 曲の切れ目の無音区間が短すぎる。

などの理由により、自動分割がうまくできない場合、録音レベルの設定変更や、録音後の編集機能を利用してのノイズ除去、 無音を判断する無音区間の初期値の変更が必要になる場合がございます。その場合の詳しい手順書は別紙をご確認ください。

また、DigiOnSound5 LE.のその他機能に関しましては、まず DigiOnSound5 LE.を起動しメニューバーの(ヘルプ) (目次)より オンラインマニュアルがございますのでそちらをご覧くださいますようお願いします。 (サポートサービスのご案内に関しましても記載しております。)

目次

ページ はじめに 1 . デバイスの設定 2 . 環境設定 3 . 録音を行う 4 . MP3 形式で分割保存する 5

# . **デバイスの設定** 入力サウンドデバイスを PCA-ACUP に設定する。

ッールバーの[ファイル] [サウンドデバイスの設定] を選択します。

	📰 DigiOnSound5 L.E.					
C	ファイル(F) 表示(V) コントロール(C) ヘルプ(H)					
		新規作成(N)	Ctrl+N			
		開<(O)	Ctrl+O			
		閉じる(C)	Ctrl+W			
	,	環境設定(T)				
C	サウンドデバイスの設定(U)					
	終了(X) Alt+F4,Ctrl+					

「サウンドデバイスの設定」ウィンドウが開きますので 入力サウンドデバイスを【マイク(USB PnP Audio Device)】 に変更して[OK]ボタンをクリックしてください。

サウンドデバイスの設定
出力サウンドデバイス © <u>W</u> aveOut <u>© D</u> irectSound サウンドデバイス(D):   ウェーブマッパー ▼
サウンドバッファの長さ(L): 02 秒(0.1~05) サウンドバッファの個数(C): 5 個(3~20)
入力サウンドデバイス サウンドデバイス(B): ウェーブマッパー ウェーブマッパー マイク (USB PhP Audio Device) デジタル入力デバイス (SPDIF) (H 統首位置の補正地UU): U ms
OK キャンセル ヘルプ(出)

環境設定

ツールバーの[ファイル] [環境設定]を選択します。



📻 DigiOnSound5 L.E.						
C	(ファイル(F)) 表示(V) コントロール(C) ヘルプ(H)					
		新規作成(N)	Ctrl+N			
		開<(O)	Ctrl+0			
閉じる(C) Ctrl+						
	,	音楽CDからのデータ抽出(M)				
С		環境設定(T)				
		サウンドデバイスの設定(U)				
		最近使ったファイル				
		終了(X) Alt+F4,Ctrl+Q				

環境設定	٢.
録音  サウンド形式   一時ファイル   表示   編集	-
チャンネル ヘ モノラル(M) (で ステレオ(S))	
OK キャンセル ヘルプ	

次に、(サウンド形式)タブへ移動しチャンネルを 【ステレオ】に設定して(OK)ボタンをクリックしてください。

環境設定	×
録音 サウンド形式 一日	寺ファイル 表示 編集
サンプリング周波数( <u>S</u> ):	44,100Hz
量子化ビット数( <u>B</u> ):	16 ビット <u>▼</u>
チャンネル( <u>C</u> ):	モノラル (マ モノラル (マ メテレオ
	OK キャンセル ヘルプ

### . 録音を行う

#### 再生機器からパソコンにサウンドを取り込む

(ファイル) (新規作成)を選択してください。

	DigiOnSound5 L.E.					
ファ	イル(F) 表示(V) コントロール(C)	へノレプ(H)				
$\square$	新規作成(N)	Ctrl+N				
	開<(0)	Ctrl+0				
	閉じる(C)	Ctrl+W				
	最近使ったファイル					
_	終了(X)	Alt+F4,Ctrl+Q				

次に、『コントローラ』ウィンドウの録音ボタンを押して録音準備状態にします。 \*『コントローラ』ウィンドウを閉じている場合は、ツールバーの 〔表示〕 〔コントローラ〕を選択することでコントローラウィンドウ を再度表示できます。

再生ボタンを押すと録音が開始されます。

録音を終了する時は停止ボタンを押してください。

コントローラー	$\neg - \neg$
00:00:00.00	W.Auto R.Auto
	• • • • •
■ 再生しながら録音	録音可能時間 68:16:30

コントローラー	$rac{1}{2}$
00:00:00.00	W.Auto R.Auto
● 再生しながら録音	録音可能時間 68:16:31

コントローラー	$= - \times$
00:00:10.50	W.Auto R.Auto
再生しながら録音	録音可能時間 68:05:43

録音が終わったら編集を行う前に保存することをお勧めします。 保存の手順は、「ファイル」 (名前をつけて保存)を選択してください。 保存する場所とファイル名を設定して[保存]ボタンを押してください。

<b>.</b>	DigiOnSound5 L.E.				
77	'イル(F))編集(E) 表示(V	) エフェクト(T) スペシャル			
	新規作成(N)	Ctrl+N			
	開く(O)	Ctrl+0			
	閉じる(C)	Ctrl+W			
	上書き保存(S)	Ctrl+S 0			
$\square$	名前を付けて保存(A)	Ctrl+Shift+S			
	読み込み(I)	Ctrl+R			
	書き出し(E)	Ctrl+E			
	音楽CDからのデータ抽出(	м)			
	環境設定(T)	F			
	サウンドデバイスの設定(U	·) =			
	メールで送信(D)				
	最近使ったファイル				
	終了(X)	Alt+F4,Ctrl+Q			

🔜 名前を付けて係	存					×
保存する場所(1):	📗 ドキュメント		• + •	* 🖻		
名前	更新日時	種類	サイズ	タグ		
	5	のフォルダは空	ল্টে -			
コッイルタ(約)・	HTT RT			- 6	/975/C)	
77170-AB( <u>N</u> )-				_ L	1#1+(0)	
ファイルの種類(工):	DigiOnSound I	Format (*.dgs)		<u> </u>	キャンセル	
				*	洋和情報( <u>C</u>	)
					ヘルプ(出)	
				-		_
,						

## . 無音検出によるサウンド分割を行う 曲を分割して iPod などで視聴できるファイルを作成

F

[ツール] [サウンド分割]を選択してください。

ť	ウンド分割	×				
	-分割基準	次へ				
	○ 特定の間隔で分割( <u>D</u> )					
	<ul> <li>         ・         ・         新音部分で分割         ・         ・         ・</li></ul>	「無音部分で分割」にチェックを入れて [次へ]をクリックします。				
	○ キューボイントに従って	ン部で ヘルブ(円)				

無音検出の設定画面が表示されたら[無音の継続時間] [音源の種類][処理方法]を選択し、[次へ]をクリックします。

無音検出の設定	×
無音の維続時間( <u>R</u> ):	次へ
2.00 🗄 秒 💌	<u>戻る(B)</u>
音源の種類 ● アナログ1 Uイズ大)	キャンセル
C アナログ <u>2</u> (ノイズ中)	ヘルプ(円)
C アナログ <u>3</u> (ノイズ小)	
C <u>C</u> D/MD	
<ul> <li>ファイルの分割を行なう(D)</li> </ul>	
○ キューポイントの設定のみ行	īð(₽)
■ 既存のキューを削除する	)( <u>U</u> )

[保存するフォルダ][ファイル名][ファイル形式]を設定し[OK]をクリックします。

サウンド分割 🛛 🔀	( wiPodで聴く場合に
分割ファイルを保存するフォルダ(E):	していていがえ」を"
C:¥Program Files¥DigiOn¥DigiOnSound5 LEP¥Data¥	MPEG Audio Layer-
分割ファイルのプレフィックス名(P): サウンド_	更する必要があります。
ファイル形式 MPEG Audio Layer-3/mp3PRO (*.mp3) マ 詳細①…	保存する際、PCの環境や 録音時間などの関係で保
	存時間が異なります。

以上